

事故多発箇所の安全対策工事を実施します

～ 津幡バイパスの追突事故対策として、路面標示・電光表示を設置 ～

津幡バイパスは、昨年3月15日の津幡北バイパス全線開通により、交通の流れが大きく変わり、さらに、10月末の大型商業施設（かほく市）のオープンに伴い、交通量が大きく変動しています。

この交通状況の変化に伴い、津幡バイパスの舟橋ジャンクションから金沢側で追突事故が多発しています。

国土交通省と津幡警察署では、追突事故対策についての協議を行い、「注意喚起」を目的とする安全対策工事を実施します。

◆ 事故の発生状況について

津幡バイパスは、盛土形式の信号機の無い道路であるため、走行速度が速くなる傾向にあります。また、昨年は3月15日の津幡北バイパス全線開通や10月末の大型商業施設オープン等の要因から、舟橋ジャンクション付近では朝夕が混雑する状況となり、追突事故が多発する傾向がみられました。

事故の状況としては、金沢市街方向から能登方向への追突事故が全体事故件数のほとんどを占める状況となっています。

◆ 事故防止対策内容について

国土交通省と津幡警察署で事故対策について検討を行った結果、追突事故の防止のため、ドライバーへの注意喚起を目的とした施設整備を行います。

- ・路面標示（減速マーキング） 写真－1
- ・路側標識 写真－2
- ・電光表示 写真－3

◆ 対策工事の実施

- ・路面標示設置 1月下旬
- ・路側標識設置 2月以降（製作が完了次第設置します）
- ・電光表示設置 2月以降（製作が完了次第設置します）

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
金沢国道維持出張所長 宮川 実
Tel：076-238-5071（代表）

●事故対策箇所



●交通量の状況（月別日平均・平日）

観測月 (平成 20 年)	舟橋 JCT (台/日)	舟橋 (台/日)	備 考
3 月前半	5,300	35,200	津幡北バイパス開通前
3 月後半	16,200	36,700	津幡北バイパス開通後 (3 月 15 日)
11 月	16,000	38,200	大型商業施設オープン (10 月 31 日)

※ 交通量：金沢河川国道事務所調べ

●人身事故の状況

- ・ 月間の事故状況 平成 20 年 1 月から 10 月まで 12 件 (10 ヶ月間)
11 月から 12 月まで 17 件 (2 ヶ月間)
- ・ 追突事故の割合 93% (全体 29 件中 27 件)
- ・ 時間帯別の割合 朝方 7 時から 9 時 9 件
夕方 17 時から 19 時 8 件
朝・夕計 59% (全体 29 件中 17 件)

※ 事故件数：津幡警察署提供

● 事故防止対策（参考）

写真一 路面表示（減速マーキング） 設置例



写真二 路側標識 設置イメージ



写真三 電光表示板 設置例

